

農学職

農学職の仕事
農政の企画立案と現場での普及指導活動

日頃から農業者と直接接している普及指導員の強みを生かし、個々の農業者や地域農業の状況を良く知る立場で、市町村を始めとする多くの方々と連携・調整、農業経営や地域農業の活性化に貢献できることが魅力です。

本庁での仕事 主な配属先 農政室、流通対策室 など

- 魅力ある大阪農業の実現に向けた施策の企画立案
- 大阪の特産農産物の病虫害発生予測と情報提供
- 施策の具体化に向けた国や関係機関等との連絡調整
- 予算、議会対応 など
- 大阪産(もん)の魅力を知ってもらうための情報発信

出先での仕事 主な配属先 各農と緑の総合事務所 農の普及課 など

- 農業者と直接接して農業に関する情報の提供や技術・知識の普及
- 経営意欲の高い農業者の経営改善支援
- 市町村等の関係機関と連携した新規就農者の確保・育成
- 地域農業や大阪産(もん)の魅力を発信するイベント等の実施 など



農業工学職

農業工学職の仕事
農空間の保全・活用施策の立案・実施、農地・農業用施設の整備

農家をはじめ地域の方々とともに、その大切な財産を健全でより良いものに整備しています。地域の方々と対話しながら協力して整備を進め、完了した際には共に喜びを分かち合うことがやりがいです。

本庁での仕事 主な配属先 農政室 など

- 農空間の保全・活用に関する施策の立案
- 農地や水路、ため池等の農空間整備事業の実施
- 事業計画の審査などの事業実施のための関係手続き
- 土地改良区の指導
- 予算、議会対応 など

出先での仕事 主な配属先 各農と緑の総合事務所 耕地課 など

- 農空間整備事業の企画・立案
- 市町村、農業団体等への補助金交付
- 農地や水路、ため池等の農空間整備事業の実施
- ため池管理の適正化支援、指導 など
- 事業に関する管内市町村や農業団体との協議・調整



職員インタビュー



北部農と緑の総合事務所
農の普及課 嶋本

Career Summary (経歴)

- R05.04 農政室
- R07.04 北部農と緑の総合事務所

技術や
情報提供による
担い手育成
My Mission

現在の仕事内容とやりがい

農の普及課は農業者との距離が近く、悩みや成功事例を直接聞くことができます。微力ながらも、そうした現場の情報を他の農業者にも共有し、地域に良い連鎖を生み出せることがやりがいです。

農学職を志望した理由

前職(食品メーカー)で国産食品の少なさに不安を抱き、農業に興味を持ちました。その中で行政機関をめざした理由は、自社のノウハウだけでなく企業連携でより良いものを生み出しやすい環境に魅力を感じたからです。

ある1日の流れ



- 8:30 出勤、メール確認、事務手続き
- 12:15 昼休み
- 13:00 現場にて農業者への指導・助言
- 16:30 現場でいただいたご質問への回答等
- 17:00 退勤



農政室 推進課 山本

Career Summary (経歴)

- H18.04 泉州農と緑の総合事務所
- H22.04 みどり・都市環境室
- H26.04 北部農と緑の総合事務所
- R02.04 中部農と緑の総合事務所
- R05.04 農政室

大阪農業の
発展
My Mission

最も印象に残っている業務

トマトの病害対策で農業者の栽培ハウスで試験を実施した際、府立研究所や、技術に詳しい大学、資材を販売しているメーカー等とも一緒に話し合いながら進めたことで、良い結果を出すことができ、今でも印象に残っています。

仕事で心掛けていること

小さな成果を大事にしています。目標が高く、今後の取組みを悩むこともありますが、小さな成果の積み重ねが目標達成につながっていくと思いますので、小さな一歩でも意識して自分の中で評価していくようにはしています。

ある1日の流れ

- 9:30 出勤、メール確認
- 10:00 鳥獣被害防止対策関係の補助金支出のための事務作業
- 12:15 昼休み
- 13:00 スマート農業の推進について関係機関と意見交換
- 16:30 農薬適正使用講習会の資料作成
- 18:00 退勤



職員インタビュー



北部農と緑の総合事務所
耕地課 清水

Career Summary (経歴)

- R06.04 北部農と緑の総合事務所

農空間を
まるごと
ささえる
My Mission

現在の仕事内容とやりがい

老朽化した農業用水路の整備を行っています。発注から始まり、関係者との協議や現場の監督業務などを行います。無事完成したときは達成感がありますし、近隣の方から喜びの声を聞くとモチベーションにもなります。

農業工学職を志望した理由

元々農に関する仕事がしたいという想いがありました。大学で農業工学を学んでからは農業生産を支えるだけでなく、災害対策や環境保全など今の社会に求められる課題解決に関われるところに魅力を感じ、志望しました。

ある1日の流れ



- 8:30 出勤、メール確認
- 10:00 現場にて工事の進捗の確認
- 12:15 昼休み
- 13:00 市町村や土地改良区からの提出書類の確認
- 15:00 若手職員による施工管理技術の検討会
- 16:00 農政室への提出書類作成
- 17:00 退勤



泉州農と緑の総合事務所
耕地課 日根

Career Summary (経歴)

- H14.04 滝畑ダム管理事務所
- H15.04 泉州農と緑の総合事務所
- H21.04 農政室
- H22.04 政策企画部 地域主権課
- H24.04 泉州農と緑の総合事務所
- H26.04 茨木市派遣
- H28.04 農政室
- R03.04 河南町派遣
- R05.04 農政室
- R07.04 泉州農と緑の総合事務所

農業生産の向上と
地域活性化
My Mission

最も印象に残っている業務

新設の橋梁工事を担当した際、様々な課題がありましたが、上司等からアドバイスを受けながら、何度も業者と打合せをし無事に完成させることができました。その完成した姿を見たときはとても達成感がありました。

仕事で心掛けていること

机上で書類や図面と向き合うことも重要ですが、できる限り自分の目で実際の現場を確認するとともに、農家の方々と直接お話をすることを心掛けています。

ある1日の流れ

- 9:15 出勤、書類の決裁、メール・スケジュール等の確認
- 10:00 大学・企業と新工法に係る打合せ
- 12:15 昼休み
- 13:00 現場に赴き予定工事の内容や安全対策等について担当職員と確認
- 16:00 ため池等を活用した流域治水に係る打合せ
- 17:45 退勤



よくある質問

Q ベテラン農業者に指導できるのか不安です。

A 新しく農の普及課に配属されてから2年間を新任期として、集中的に研修を行うことで、普及指導活動に必要な技術やその方法を身に付けていただきます。また、その間、先輩職員がトレーナーとして、丁寧にサポートしてくれます。その後も、国や府の研修体系に基づき必要な研修を受講していただくとともに、働きながら業務に必要な知識を身につけることができるので安心してください。

Q 必要な資格はありますか？

A 農学職が配属される農の普及課では、公用車を運転して現場に出かけ、農業者と直接接して普及指導活動を行うことから、普通自動車(AT)の運転ができることが望ましいです。ただし、運転免許の有無による採用の有利・不利はありません。

よくある質問

Q 土木職との違いはどんなところですか？

A 土木職では、道路や河川など大阪府が持つ施設を整備し、管理しています。一方、農業工学職では、農家や農業団体の持つ農地、ため池、水路などの施設を一旦お預かりして使いやすいよう整備し、お返しします。さらに農地や施設の将来にわたっての利用や保全についても地域の方々と共に考え、取り組んでいます。このため、農家や農業団体の方々と計画、施工から完了後に至るまで密接に関わっています。

Q 国家公務員にも農業工学職がありますが、仕事の内容の違いはありますか？

A 基本的な仕事の目的や内容は同じですが、現場に近い分より深く地域に関わることとなります。国の制度を活用して業務を進めることが多いので、国の農業工学職の方々とやりとりする機会が多いです。